

平成25年度 新潟市立図書館施策・事業評価シート

※ ◇全館共通項目は、中央図書館を含めた中心館が共通の意識を持って取り組んだ事業。  
◆館の重点評価項目は、豊栄図書館が重点的に取り組んだ事業。

シートNo.1

中心図書館名： 豊栄図書館

区分	事業名	事業概要	実施結果	評価		
				自己評価	外部評価	
課題解決型図書館	◇全館共通評価項目 ・レファレンスサービスの充実	・市民に身近な生活課題解決のため、レファレンス(調査・相談)サービスを充実させ、迅速かつ的確な情報提供を行う。	・レファレンス件数は、24年度に801件と大幅増となったが25年度は500件台に落ち着いた。	夏季休業期間に子どもの本のへやに職員が常駐するようにし、子どものみならず、一般の方の調査支援も行ったが、思うように数値が伸びなかった。表示等工夫し、利用者に気が付いてもらえるようにする。	1 大変評価する 37.5% 2 ある程度評価する 62.5% 3 評価できない -%	・減少を回復させる方法を考えるべき。・せっかくの機能なので、市民が気軽に相談できるよう工夫してほしい。
	◆館の重点評価項目 ・予約件数の増加	・全市オンライン化や資料回送を有効に活用し、利用者の利便性向上を図る。	・平成23年度実績 22,706件 ・平成24年度実績 27,188件 ・平成25年度目標 35,000件 これらに対して平成25年度実績は、28,484件と増加となった。	目標数値には達しなかったが、予約件数は徐々に増加している。より活用されるようPRに努める。	1 大変評価する 87.5% 2 ある程度評価する 12.5% 3 評価できない -%	・実績の増加を求めるのは当然であるが、図書館の特別なプラス要素が図られていない時点では目標値を若干下げるべきではないか。
分権型図書館	◇全館共通評価項目 ・地域資料の収集	・各区を代表する人物・自然風土・産業等の地域コレクションの形成と展示を実施する。 ・特に福島潟についての資料収集に努める。	・郷土・行政資料蔵書冊数 H23実績 8,744冊 H24実績 8,958冊 H25目標 9,000冊 H25実績 9,147冊 ・郷土・行政資料貸出冊数 H23実績 2,455冊 H24実績 2,473冊 H25目標 2,500冊	平成25年度は2,050冊の貸出にとどまった。郷土資料の棚が利用者からはわかりづらい配架となっているので、見直し、サイン等来館者にすぐわかるよう工夫したい。	1 大変評価する 37.5% 2 ある程度評価する 37.5% 3 評価できない 25%	・重厚で深い歴史の少ない豊栄・北地区ではこの程度が相当なのではないか。関連づけられる周辺部資料の充実も考えられるべき。例えば秋葉区の鉄道関連とか、米沢・庄内のものなど。・夏・秋など旅行シーズン等に目立つ場所にコーナーを設けると良いのではないか。 ・今年度の工夫が貸出冊数に繋がることを期待する。
学・社・民融合型図書館	◇全館共通評価項目 ・ブックスタートの実施	・1歳誕生歯科健診会場において、赤ちゃんと保護者に絵本の読み聞かせを体験していただく「ブックスタート」を実施する。	実施対象者に対し ・平成23年度実績 95% ・平成24年度実績 85.5% ・平成25年度目標 90% ・平成25年度実績 91.4%	ブックスタート事業が開始されてから歯科検診の受診率が微増しているという報告も受けている。対象者の中にもブックスタート事業に関心を寄せる方も増えてきている。今後は図書館への来館を促せるような方法をとっていきたい。	1 大変評価する 100% 2 ある程度評価する -% 3 評価できない -%	・あまり知られていないようだが、平均90%は評価できる。
	◆館の重点評価項目 ・各種講座の実施 ・学校図書館支援センター	・ボランティアステップアップ講座 ・学校貸出図書搬送事業、職場体験受入(主に中学生)、施設見学受入、レファレンス対応、学校図書館司書への支援(学校訪問、実務研修、情報交流会等)	・平成25年度はボランティアステップアップ講座8回を開催 ・学校貸出図書搬送5,009冊 ・職場体験 24年度 4校 7名 25年度 7校 17名 施設見学 24年度 5校144名 25年度 4校207名 ・学校レファレンス対応 24年度 63件 25年度 89件 ・学校訪問延べ 24年度 60回 25年度 80回 ・業務相談 24年度 93件 25年度 216件	ボランティアステップアップ講座は読み聞かせボランティアとして活動している方たち向けに、活動の幅を広げてもらおうとストーリーテリングの講座を実施した。学校搬送は江南区分も含めた数値。25年度からは江南区の学校図書館支援も業務に加わったため、数値が多くなっている。	1 大変評価する 100% 2 ある程度評価する -% 3 評価できない -%	・本来の業務の支障にならない範囲で体験、見学、訪問などを増やすべきではないか。 ・今後も講座の実施をお願いしたい。
パートナーシップ型図書館	◇全館共通評価項目 ・共催事業の実施	・市民との協働をいっそう推進するためボランティア・教育機関や民間団体と連携して事業を行う。	ボランティア団体との共催 ・春のおはなしリレー ・わくわく体験夏まつり ・おはなし会4回	ボランティア団体との共催事業は例年参加者から好評を得ている。今後も協力を仰ぎながら継続していきたい。	1 大変評価する 87.5% 2 ある程度評価する 12.5% 3 評価できない -%	・共催事業の実施を知っている人はまだ少ないのではないか。知的な事業としてもっとPRしてほしい。
	◆館の重点評価項目 ・共催事業以外のボランティアとの協働 ・図書館職員、ボランティアスタッフによる「おはなしのじかん」の実施	・配架・書架整理ボランティアとの協働。また、ボランティアへの参加を促進するため、図書館で活動中のボランティアの紹介、各種事業へのPRなどを積極的に行う。 ・図書館職員、ボランティアスタッフによる「おはなしのじかん」の実施。	・ボランティア団体の主導でわくわく体験夏まつりを開催することができた。 ・古本の収益と募金で17,961円は、日本赤十字社新潟市北区地区を通じて東日本大震災の義援金とさせていただいた。	わくわく体験夏まつりの他にもボランティアによる読み聞かせや季節ごとのおはなし会の開催など図書館振興への助力を多くいただいている。今後も協働していきたい。	1 大変評価する 75% 2 ある程度評価する 25% 3 評価できない -%	・地道な形で続けるべき。 ・職員の方々の助けをいただき、ボランティア活動する場があり、ありがたい。今後も多くの方々に来館してもらおうよう努力したい。